



平成21年8月27日

各 位

会 社 名 ニッケ(日本毛織株式会社)
代 表 者 名 取締役社長 降井 利光
(コード番号 3201 東証・大証各第一部)
本 社 所 在 地 大阪府中央区瓦町3丁目3番10号
問 い 合 せ 先 財 経 室 長 岡本 雄博
(TEL. 06-6205-6635)

連結子会社の清算に伴う債権放棄の見込みに関するお知らせ

当社は、平成21年7月10日付「エンジニアリング事業の再編について」において開示しましたとおり、エンジニアリング事業の再編を進めておりますが、同事業再編に伴い、当社連結子会社である株式会社テクシオに対して債権放棄を実施する見込みが生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 当該連結子会社の概要

- | | |
|-------------|--|
| (1) 商号 | 株式会社テクシオ |
| (2) 本店所在地 | 東京都町田市鶴間1850-1 |
| (3) 代表者 | 取締役社長 前田圭一郎 |
| (4) 事業内容 | 電源・計測器・二次電池用充放電検査装置等製造 |
| (5) 設立年月日 | 平成8年7月1日 |
| (6) 資本金 | 80百万円 |
| (7) 株主 | 日本毛織株式会社78.4%、その他21.6% |
| (8) 総資産 | 2,317百万円(平成20年11月30日現在) |
| (9) 純資産 | ▲586百万円(平成20年11月30日現在) |
| (10) 当社との関係 | 当社は同社に対して出資し、出向者を派遣しておりますが、営業取引はありません。 |

2. 事業再編の内容および債権放棄の理由

- (1) 現在のエンジニアリング事業は、(株)ニッケ機械製作所・(株)テクシオ・(株)システム開発のグループ子会社にて運営しておりますが、事業所が分散しており技術面におけるシナジー効果の追求が課題となっていました。今般、これらの子会社が運営している事業のなかで、画像検査装置事業、電源・計測器・二次電池用検査装置事業、半導体・電子部品関連事業を再編し、収益性・効率性の改善をはかるとともに開発力の強化を目指すこととしております。

(2) 今回の再編のなかで、㈱テクシオの事業につきましては、新会社ニッケテクノシステム(仮称)に対して譲渡を行い、同社において当該事業を継続してまいります。

事業譲渡後の㈱テクシオにつきましては会社清算を予定しており、同社に対する債権について債権放棄を実施する見込みとなりました。なお、㈱テクシオの子会社につきましては、現在検討中です。

3. 債権放棄の見込み額 貸付金 1,555百万円

4. 今後の見通し

(1) 個別業績に与える影響額

当該債権については既に貸倒引当金755百万円を設定しており、当年度に貸倒引当金の追加繰入8億円を特別損失として計上する見込みです。当該影響額につきましては、平成21年7月10日に開示しました業績予想に織り込み済みです。

(2) 連結業績に与える影響額

当該債権は連結消去されるため、連結業績に与える影響はございません。

なお、㈱テクシオの会社清算を含めたエンジニアリング事業の再編にかかる費用につきましては、平成21年7月10日に開示しましたとおり約7億円の特別損失を見込んでおり、同日開示しました業績予想に織り込み済みです。

以 上